

(2枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

1 次の1・2に答えなさい。

1 次の(1)～(4)は、教育基本法、地方公務員法、学校教育法及び教育公務員特例法の条文の全部又は一部です。(A)～(D)にあてはまる言葉をそれぞれ書きなさい。

(1) すべて国民は、ひとしく、その能力に応じた教育を受ける機会を与えられなければならないが、人種、信条、性別、社会的身分、経済的地位又は門地によって、(A)されない。(教育基本法第4条)

(2) 職員は、条例の定めるところにより、(B)の宣誓をしなければならない。(地方公務員法第31条)

(3) 校長及び教員は、教育上必要があると認めるときは、文部科学大臣の定めるところにより、児童、生徒及び学生に懲戒を加えることができる。ただし、(C)を加えることはできない。(学校教育法第11条)

(4) 教育公務員には、(D)を受ける機会が与えられなければならない。(教育公務員特例法第22条)

2 学校教育法施行規則第66条、第67条、第68条では、学校評価に関する規定が設けられています。この規定はどのような内容ですか。簡潔に3つ書きなさい。

2 平成20年3月告示の小学校学習指導要領、中学校学習指導要領及び平成21年3月告示の特別支援学校小学部・中学部学習指導要領、平成21年3月告示の高等学校学習指導要領及び特別支援学校高等部学習指導要領 総則 では、各教科等の指導に当たっては、児童生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れるように工夫することが重要であると示されています。具体的には、どのようなことが考えられますか。簡潔に書きなさい。

3 平成28年12月21日に中央教育審議会から出された「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」の答申には、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の3つの視点に立った授業改善を行うことが示されています。「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」とは、どのような学びですか。それぞれ簡潔に説明しなさい。

4 いじめ防止対策推進法第19条には、インターネットを通じて行われるいじめに対する対策の推進について、学校は、児童等及びその保護者がインターネットを通じて行われるいじめを防止し、効果的に対処することができるよう、必要な啓発活動を行うものとするが示されています。この啓発活動において、児童生徒や保護者のいじめに対する対策についての理解を深めるために、どのようなことに留意して、説明しますか。インターネットの特性を踏まえて、簡潔に書きなさい。

(2枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

- 5 平成20年3月に告示された小学校学習指導要領 外国語活動 指導計画の作成と内容の取扱い 1 (4) には、指導内容や活動についての配慮事項が示されています。どのようなことに留意するとされていますか。簡潔に書きなさい。
- 6 総合的な学習の時間においては、探究的な学習を実現するため、「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の探究のプロセスを明示し、学習活動を発展的に繰り返していくことが重要です。このプロセスのうち「まとめ・表現」の学習活動においては、どのようなことに配慮することが考えられますか。簡潔に3つ書きなさい。
- 7 障害のある児童生徒に対しては、個々の児童生徒の障害の状態等に応じた指導内容や指導方法の工夫を検討し、適切な指導を計画的、組織的に行う必要があります。各学校においては、どのようなことに取り組むことが大切ですか。400字以上500字以内で書きなさい。

30

教職に関する専門教育科目 小学校 解答用紙

(3枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

1

1 (A) _____ (B) _____ (C) _____ (D) _____

2

2

--

30

教職に関する専門教育科目 小学校 解答用紙

(3枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

3

「主体的な学び」
「対話的な学び」
「深い学び」

4

--

5

--

